

水稲

◎刈り取り後の管理

◎刈り取りは籾の黄化を確認し、適期刈り取りを行ない良質米生産に努めましょう。（収穫適期の目安は2025年JA水稲栽培こよみをご確認ください。）

◎稲刈り後は、雑草対策や土づくりを行ない、次年度の作付けに備えましょう。

【除草剤による雑草対策】

塊茎で増えるクログワイやオモダカは、稲刈り後、再度雑草が伸長し草丈20cm以上になった状態で、緑色の茎葉部に除草剤散布を行ない、塊茎の形成を阻害させましょう。

使用回数	使用時期	10a当り使用量		適用場所	除草剤
		希釈水量	薬量		
1回	雑草生育期	50～100L	500～1,000ml	水田刈跡	ラウンドアップ マックスロード

【土づくり】

翌年の良質米生産に向けて赤枯れ症などの対策として、稲刈り後は稲ワラ腐熟促進剤などを散布しましょう。また、土づくり資材等の施用を行ない、地力向上を図りましょう。

①稲ワラの腐熟促進・秋～春期（稲刈り後～3月）に稲ワラ腐熟促進剤を施用し耕うんする

- ・ワラサル粒剤15kg/10a又はアグリ革命（細粒）2kg/10a
- ②土づくり肥料の施用（10aあたり）
 - ・堆肥 1000kg
 - ・ミネラルG又はケイカル 毎年施用の場合 120kg
 - 隔年施用の場合 200kg

野菜

たまねぎ

◎播種時期から定植時期の管理

【苗づくり】

- ・本圃面積1aあたり、すじ播きで5～6m程度の苗床が必要です。
- ※本圃面積1aあたりの定植本数の目安は2,000本程度です。

【播種のポイント】

- ・各品種の播種時期を確認し、早播き・遅まきは避け、適期に播種しましょう。
- ・播種前日に苗床に十分かん水し、播種当日は、条間8～10cm、播種間隔1cm程度で、すじ播きをしましょう。
- ・厚播きにならないように丁寧に播種し、覆土は1cm以下となるように薄く行ないましょう。
- ・乾燥防止のため、苗床表面に、もみ殻・くん炭などを敷くとよいでしょう。

【播種後の管理】

- ・播種後から出芽するまでは、晴天が続くようなら、毎日かん水を行ない、土壤水分を維持しましょう。
- ・出芽以降も、土壤表面が乾いてきた

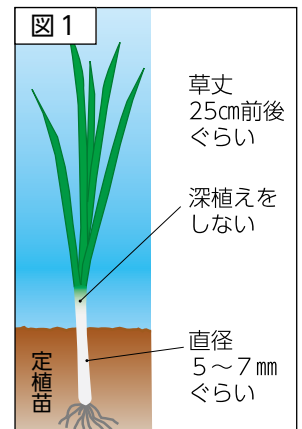
らんかん水を行ないましょう。

【定植】

- ・定植苗は、育苗日数が55日前後で、草丈が25cm前後、茎の太さが5～7mm程度、100本重量が370～500g程度の苗が理想です。（図1）
- ・とう立ちを防ぐため、生育過剰の苗や、大苗での定植は避けましょう。
- ・畝幅100cm程度の畝に4条植えとし、条間20cm、株間は晩生品種で10cm、早生品種・中生品種で12cmを基準に植え付けましょう。

【定植のポイント】

- ・植える深さは2～3cmとし、葉の分岐点より上に土をかけないようにしましょう。
- ・定植後は十分にかん水を行ないましょう。
- ・定植後5日間程度は乾燥すればかん水を行ない、活着を促しましょう。



【作型の目安】※品種や圃場条件によって異なります。

作型	品種の例	播種時期	定植時期	収穫時期
早生	マッハ	9月中下旬	11月上中旬	5月上旬～
中生	ターボ・アトン	9月下旬	11月中旬	6月上旬～
中晩性・晩生	ネオアース	9月下旬	11月中旬～下旬	6月下旬～

※マッハ、ターボ、アトン、ネオアースはタキイ種苗の品種です。

【苗床の施肥】

	時期	肥料	施肥量
土づくり肥料	播種の1カ月～2週間前	完熟堆肥	30kg/10㎡
		苦土石灰	1.5kg/10㎡
基肥	播種2週間前まで	やさい化成1号	1kg/10㎡

・土づくり肥料・基肥の施用後は耕耘し、土となじませましょう。

【定植圃場の準備】施肥の目安

	時期	肥料	施肥量
土づくり肥料	定植の1カ月～2週間前	完熟堆肥	200kg/a
		苦土石灰	15kg/a
基肥	定植2週間前まで	やさい化成1号	7kg/a

- ・土づくり肥料施用後は耕うんし、土となじませましょう。
- ・基肥施用後は耕うんし、畝幅100cm程度の畝立てを行ないましょう。



▲持ち込まれた廃棄物を計量するJA職員

農業用資材廃棄物回収で環境保全

JA三次地域は6月上旬、期限切れ農薬の誤使用や不法投棄の防止など、環境や安全に配慮した農業を促進するため、農業用廃棄プラスチックやビニール、小農機具、期限切れ農薬、使用済み容器などの分別回収を行いました。組合員・利用者はJA職員から適切な分別などの指導を受け、環境保全意識の定着にもつながっています。廃棄物を持ち込んだ利用者は「農業で出た廃プラスチックや不要品など処分が難しいものを回収してもらるので大変助かる」と話しました。



▲田植え唄やはやしにあわせて田植えをする早乙女

稲作文化、鮮やかに再現 第20回神杉大田植

神杉地区自治会連合会と神杉大田植実行委員会は6月8日、三次市高杉町の水田で地域に古くから伝わる田植えを再現する催し「第20回神杉大田植」を開き、地域住民や関係者など約600人が集まりました。サンバイ(田の神様)おろしの神事を行なった後、華やかな装飾の花牛3頭が水田17aを代かきし、地域住民らサゲ衆が太鼓を打ち鳴らす中、専用の装束に身を包んだ早乙女約40人が田んぼ横一列に並び、田植え唄やはやしに合わせてもち米の苗を植えました。大田植にはJA職員や同市立神杉小学校の児童も参加し、地域の伝統に触れました。

一支部一福祉活動の展開を たんぽぽの会総会



▲総会で2議案を承認

JA三次地域のボランティア組織「ふれあい助けあい組織たんぽぽの会」は6月12日、三次農協会館大ホールで総会を開き、会員、関係者ら約80人が参加しました。総会は活動計画など2議案を承認。今年度も行政、社会福祉協議会など関係機関と連携し、地域のニーズにあった高齢者の生きがい活動、助け合い活動を展開していきます。総会後に行なわれた研修会では、三次市健康推進課から講師を招き、心の健康づくりについて学びました。「たんぽぽの会」は1997年に組合員、女性部、地域住民が連携して発足。現在会員751人が一支部一福祉活動をスローガンに、管内17支部で福祉施設への慰問や清掃活動、手づくりプレゼント製作など、地域に密着した福祉活動を行なっています。



(株)三次ケーブルビジョンコミュニティチャンネル

農業情報番組ガイド 111ch

放送時間 7:00~7:15・12:00~12:15・19:40~19:55

放送日	内 容	担当者
9月1日(月)~9月7日(日)	水稻刈り取り後の管理と白ねぎの栽培管理について	朝日
9月15日(月)~9月21日(日)	秋まき野菜の栽培管理について	上田

※放送内容(予定)は変更になる場合もあります。

9月のお知らせ カレンダー

9月13日(土)
ふれあい活動



JA女性セミナー開講

JA女性部三次地区本部は6月20日、三次農協会館大ホールで2025年度JA女性セミナーの開講式を行ないました。

同セミナーは、女性の資質向上と共に健康で明るく豊かなくらしを築くことを目的に年6回の講座を開いており、今年度は40人が受講します。

開講式の後に行なわれた第1回の講座では、環境カウンセラーの青山範子さんを講師に迎え、SDGs、食品ロス問題について学びました。



▲SDGsについて学ぶ受講者

河内支部・丸堂さん優秀賞 JA広島県女性組織活動体験発表

JA広島県女性組織協議会は6月9日、広島市でJA女性組織活動体験発表会を開き、県内の女性部員8人がそれぞれの組織や地域の活性化に向けた活動について発表しました。

JA女性部三次地区本部からは河内支部の丸堂恵子さんが「河のほとりのフラガール」と題した発表を行ないました。丸堂さんは支部でフラダンスグループを立ち上げ、活動を通じ部員や地域との交流を深めていったエピソードを紹介され、優秀賞を受賞しました。



▲発表する丸堂さん



▲発表会へ参加されたみなさん

農業体験で楽しく交流 フレッシュミズ部会

JA女性部三次地区本部フレッシュミズ部会は6月7日、部員間の絆づくりや農業体験の一環としてサツマイモ苗の定植作業を行ない、部員や部員家族ら11人が参加しました。

参加者は、マルチに穴をあけ、協力しながらサツマイモの苗100本を植え付けました。秋には収穫体験を計画しています。参加した子どもは「自分たちで育てたサツマイモを食べるのが楽しみ」と話しました。



▲参加されたみなさん

作木支部



▲かしわもち作り

たんぽぽの会 神杉支部



▲AED講習会

田幸支部



▲アロマスプレー作り



お知らせ

JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会より

抽選で20名様に / 三次産「ぶどう」1箱 (2kg入り) プレゼント!

※品種、生産者の指定はできません

**応募期間** 令和7年8月9日(土) ~ 20日(水) ※当日消印有効

応募方法 郵便ハガキ又は各支店窓口にあります応募用紙に、住所・氏名・電話番号を明記の上、ご応募ください。
※ご応募はお一人様1口までとさせていただきます。
ご記入いただいた個人情報(住所・氏名・電話番号)は、本キャンペーンの抽選、賞品発送を目的に利用させていただきます。

応募宛先・応募用紙提出先

●郵便ハガキ 〒729-6213 三次市廻神町3370番地
JAひろしま三次地域営農経済センター 営農販売課
JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会事務局キャンペーン係 宛

●応募用紙 各支店窓口

賞品 三次産「ぶどう」2kg入り1箱 …… 20名様(品種、生産者の指定はできません)**当選発表** 厳選な抽選の上、ご当選者の発表は賞品の発送(9月中旬~10月上旬予定)をもってかえさせていただきます。**お問い合わせ先** 事務局 JAひろしま三次地域営農経済センター 営農販売課 0824-66-3857

産地紹介

(JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会)とは?

JAひろしま三次地域管内の三次ピオーネ生産組合、みらさかピオーネ生産組合、三次市ぶどう部会、ぶどうの里づくり部会の生産者で組織しています。

三次盆地の標高差と寒冷な気候を生かし7月の昼夜の温度差により着色が良く糖度も高くなるため、ぶどう栽培に適した環境となっています。

現在では約57haの面積で品種はピオーネ・シャインマスカット・安芸クイーン・ベリーAなどを栽培しています。

今後とも変わらぬご愛顧をいただきますようよろしくお願いいたします。
たくさんのおみなさま方のご応募お待ちしております!!



JAひろしま三次地域ぶどう振興協議会

(三次ピオーネ生産組合、みらさかピオーネ生産組合、三次市ぶどう部会、ぶどうの里づくり部会)